

ドライブレコーダーを活用した トータル安全運転教育サポート

ドライブレコーダーを導入された企業の皆様へ 導入結果に満足していますか？

ケース1

導入直後は事故が激減したが、最近また戻りつつある

ケース2

機器の操作が難しく簡単に映像を確認出来ない

ケース3

記録データが膨大なため、結局手づかずに

ケース4

データを整理したいが人員が足りない

ケース5

社内教育で使いたい但資料化ができない

ケース6

ドライブレコーダーの有効な活用方法が分からない

ケース7

個別指導に利用したいがデータを公正に評価できない

ケース8

記録データのデータベースを構築したいが出来ない



このお悩みを「個別運転評価シート」で全て解決致します！

ケース1

評価シートで気付く力を養い、事故防止

ケース2

データが入ったメモリーカードを送るだけでOK

ケース3

映像と評価をまとめて効率よく保存

ケース4

必要なデータのみを研究所が選んで整理

ケース5

評価シートの活用と教育用資料作成でバックアップ

ケース6

まさに評価シートがドライブレコーダー活用の真骨頂

ケース7

研究所の専門スタッフが一件一件を確認して客観的に評価

ケース8

評価シートを類型別にまとめるだけで十分

この「個別運転評価シート」とは？次項をご覧ください！

運転個別評価シート

交通事故解析の専門家がドライバーの運転特性を指摘し、普段は見過ごしがちな不安全行動を評価します！

運転個別評価シートは「**アナログ評価**」で「**動画付**」！！

“アナログ評価”はここまで読み解く！

これまでの加速度などの数値データを基にした画一的なデジタル評価に対して、本評価は交通事故解析プロが動画の一件一件をアナログ評価で読み解きます。

- ドライバーの「**運転心理**」にまで踏み込んだ評価
ドライバー本人が「気付いていない」運転の癖や欠点はもちろん、良好な点にも気付くことができ、危険への感受性を高めることができます。
- アナログな動画解析だからできる**潜在的な危険の顕在化**
加速度などの数値データだけでは評価することができないところにこそ事故につながる危険が潜んでいます。まさに、そこを専門家が次の具体的項目で評価します。

- ◆一旦停止の履行
- ◆車間距離
- ◆適正な車線変更

- ◆信号の順守
- ◆右左折の状況

“動画付シート”だから分かり易い！

- ドライバーへの直接指導に効果あり
面接・個別指導でドライバー本人の運転状況を動画を見ながら教育・指導できるため、ドライバー本人が容易に理解できます。悪い点を指摘する場合も本人の運転動画の活用で納得せざるを得ません。
- 資料の管理が容易
評価シートを保管すると同時に関連付けられた動画も保存できるため、数年後でも簡単に再使用が可能です。

研究所の他サービスと組合せてさらに効果UP

- 評価シートの評価から「事故予備群」を抽出して、KYT、講習等により、ドライバーの意識改革を図る。
- 評価シートを軸としたトータルコンサルティングにより、会社全体の運行管理能力を高めていく。

※各社の状況に合わせてカスタマイズに対応します。詳細は弊社までお問い合わせください。

運転個別評価シートの概要

- ドライバー一人につき一枚の評価
- 「運転の評価」「専門家のコメント」「運転動画」をPDF形式の電子ファイルに記載
- 運転動画は電子ファイルに添付、評価と同時に視聴可能

運転個別評価シートの記載項目

- 次の項目について、良好事項は青字、注意事項は黄字、危険事項は赤字で見やすく表記

- ◆運転の総合評価
- ◆車線変更の状況
- ◆一旦停止、徐行
- ◆交差点での行動
- ◆速度評価
- ◆車間距離

運転個別評価シートの記載例

運転動画

指摘された内容の動画を添付
(クリックして視聴可)

総合評価

運転全般について
客観的に評価

項目別コメント

チェック項目とポイント
を文字の色で表現

- 危険事項 赤文字
- 注意事項 黄文字
- 良好事項 青文字

評価例

ドライブレコーダー取得データから診た運転者評価表

報告日 2011年 8月 4日

氏名 山田 太郎 年齢 45才

総合評価
停止線にて、若干速度を緩めているが完全な**停止を行わず(ローリングストップ)**進行しているケースが多々ある。(右図データを参照)
大型車かつ、会社の看板を背負って運転しているという認識を再度確認して、良い意味で堂々とした模範運転を心掛けたい。
他、一般道にて**追い越し車線を継続的に走行する傾向**がある。右折等の必要が無い場合は、走行車線を流れて沿った走行で運転することに努めたい。

車線変更の状況について
車線変更は時に、**追い越し車線を継続的に走る傾向**がある。この車線は、後方からの車線の流れもあり、スピードが落ちやすい。必要がない場合は、なるべく走行車線を走行するように努めたい。

一旦停止、徐行等について
一旦停止、徐行等については、極めて危険な運転行動と考える。この癖、繰り返しは交通事故に直結するケースである。すぐに、この癖を改めて安全運転に努めたい。

備考・交差点について
若干普通走行時よりも気持ち速度を落とす配慮・意圖を持ちたい。

速度について
悪い・超過速度での走行はないが、交差点進入時もほぼ一定速度で進入しているため、気持ち減速することを心掛けたい。

車間距離について
若干前方車両との車間が**小さい**ことがある。十二分な距離をとるよう心掛けたい。

運転者心構え

管理者コメント

評価報告書作成場所 株式会社 日本交通事故鑑識研究所
作成担当者 浅野 敏行

信号 5
速度 4
車線変更 3
車間距離 3.5
一旦停止 1
速度 3
車線変更 3.5
車間距離 1
一旦停止 3

簡易評価グラフ

各項目ごとにポイントで評価

運転者のコメント

個別評価シートの内容を
確認した後、感想・意見
などを記入

管理者のコメント

個別評価シートの内容と、
運転者コメントを確認した後
意見などを記入

評価担当者名

ドライブレコーダーを活用したトータル安全運転教育サポートの運用

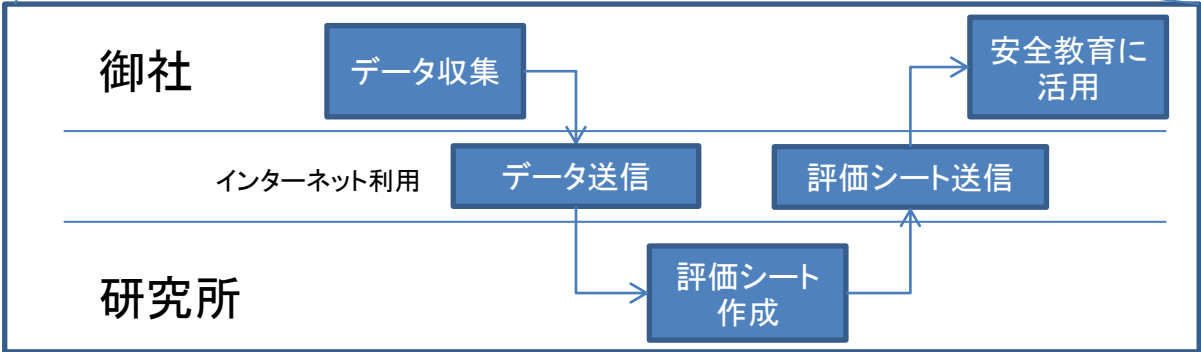
6か月プラン例

一月につき、30件（人）のドライブレコーダーで記録されたデータから評価シートを作成します。（評価シートは10件/月で提供します）
3か月に一回御社を訪問し、経過報告と方針の確認をします。
6か月間に集積されたデータから特徴的なデータを抽出し、評価シートを水平展開します。

1か月目	2か月目	3か月目	4か月目	5か月目	6か月目	以降
方針確認※	評価シート作成 10件	評価シート作成 10件	経過報告※	評価シート作成 10件	評価シート作成 10件	集計報告※
						評価シートの 水平展開

※御社を訪問

評価シート作成（10件/月）



6か月プラン費用（10件/月）

○ドライブレコーダーを活用した評価シート作成費用の概算
1か月 134,400円 （※6か月契約～になります）

○ドライブレコーダーをレンタルする場合
ドライブレコーダーレンタル費用の概算（事業者規模 保有台数30台の場合）
Witness I 500円/月 × 30台 × 6か月
MP-2 2,000円/月 × 30台 × 6か月

運転個別評価シートの水平展開

水平展開の狙い

- 会社のドライブレコーダー運用の実情を全てのドライバーに周知徹底し、一体感を醸成する
- 先輩・同僚の運転状況、運転マナーと自分の運転を比較することにより、運転に対する課題や改善すべき点を自覚させる



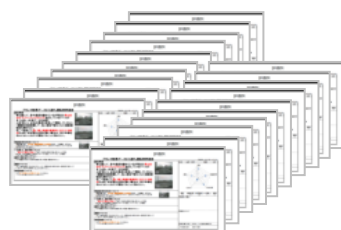
全ドライバーの意識改革

水平展開の手順

評価シートを利用した対象者との面談



評価シートの蓄積

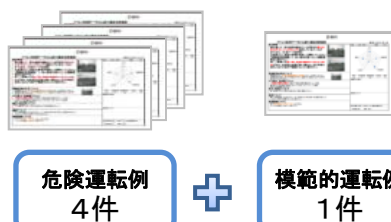


全ドライバーによる閲覧



※詳細は下記参照

会社の特徴的事例の抽出



全ドライバーによる閲覧の具体的手順

1. 会社の特徴的な運転事例を各ドライバーが個別に閲覧

会社の特徴的な運転事例を、危険運転例4件、模範的運転例1件の合計5件分の評価シートを個別にドライバー毎閲覧させる

2. 各評価シートについて意見・感想を記入

5件分の評価シートに対して、感想と意見を、用紙に記述させる

〇 事例一：危険運転事例	
危険運転事例	
危険運転事例	
危険運転事例	
危険運転事例	
危険運転事例	

※意見記入シート例
詳細は別紙参照